

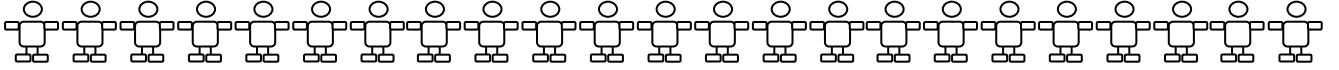
発行：2021年 第2号 9月15日（水）

三国中校区「なかよし地域ネット」通信

発行者：三国中校区「なかよし地域ネット」人権のまちづくり推進連絡会

会長 白木 博昭 / (文責) 事務局長 楠 良司

連絡先：小郡市教育委員会 人権・同和教育課 電話 72-2111 内線532



学び場支援事業を知っていますか？

小郡市教育委員会では、各中学校区の人権のまちづくりと連携しながら、子どもたちが、明るい未来を描くための「基礎基本の力」「自学自習の力」「人の間で伸びる力」をつけることをめざして「学び場支援事業」に取り組んでいます。この事業は、子どもたちが安心して、楽しく学ぶことができる「場」を・・・という願いから出発した取り組みです。

三国小BBクラブ・のぞみが丘小BBクラブ

週に2回、放課後の学校で、学び場スタッフの見守りの中、「遊び」と「学び」に安心して取り組んでいます。「遊び」と「学び」の「び」をとってBBクラブという名前がついています。BBクラブで、子どもたちの学びや遊びに関わるスタッフさんの声を紹介します。

・地域とのつながりを大切に、地域の中で何か役に立てないかな、という思いでスタッフになりました。

- ・子どもたちを「ほめる」ことを心がけています。「ほめる」ことは、とても大切だと思います。
- ・子どもたちの話を「聴く」ことを大切にしています。子どもたちは、学校のこと、家のことや悩みなど、いろいろなことを話してくれます。

- ・「教えてください」と尋ねられたり、分かったときに「ありがとうございます」と言ってくれたりするのがうれしいです。
- ・子どものがんばっている姿に、感心したり、元気をもらったりしています。



チューター三国中

定期考査前・中を中心に、校内でチュータースタッフの参加のもと、自学自習の場を設けています。チューターとは、英語で「勉強を見る人」という意味です。まわりの友だちや、チュータースタッフの方とのふれあいの中で、勉強だけでなく、多くのことを学んでいます。

土曜チューター

土曜日の13時から17時に「ふれあい館三国」を自学自習の場として開放しています。「のぞみが丘生楽館」で開設している「インカレッジ」も、学び場支援事業と連携した取り組みです。

地域ボランティアスタッフの方々のおかげで、子どもたちは安心して楽しく学ぶことができます。小学校BBスタッフ、中学生チューターとも随時、募集しています。子どもと関わることに関心がある方は、ぜひお気軽にご連絡ください。 小郡市教育委員会 人権・同和教育課（72-2111 内線532）

地域の深い取り組み



地域の居場所・・・樋口農園

夏真っ盛りの某日、樋口農園（樋口 徹さん・・・美鈴が丘）にお邪魔し、お話を伺ってきました。

のぞみが丘小学校の学校キャンプには「重松農園」の「重松のおっちゃん」と親しまれた重松さんが毎年ジャガイモを提供してくださっていました。そのおっちゃんが亡くなる時、「畑を頼む」と託されたのがPTA時代におっちゃんにお世話になっていた樋口さんだそうです。初めは「できるかな・・・」と不安だったそうですが、おっちゃんの遺志を受け継ぎ、ジャガイモを学校キャンプに提供。他にも子どもたちのジャガイモ掘り体験やその場で塩ゆでして食す企画を続けてあります。

今ではすっかり自分の居場所となった畑ですが、地域の憩いの場として、地域の人々が交流できる

“人と人とを繋げていける場所”を目指して「やれるところまでやってみよう！」という気持ちで取り組まれています。どなたでも寄れる、たのしくて心地いい居場所になりそうですね。

子どもたちの安心な居場所 「あーすちゃれんじゃー」



子どもたちに、自分らしく生きてほしい！子育て中のお母さんを応援したい！「あーすちゃれんじゃーの子育て支援ココプレイス」さんは、お母さん経験者のボランティアさんが集まり、「つながる」を大切にしながら2018年から活動されてあります。（代表 川野 悦子さん・・・希みが丘）

取り組みは、①共遊～畑で遊ぼう♪（子どもたちの居場所）②ママナビ舎（子育て講座）③フードパントリー「てとて」（経済的負担が増加している子育て世帯へ食料品提供）④ホッと tunagaru カフェ（座談会）⑤ホッと tunagaru カフェ（オンライン座談会）の5つの内容です。なかでも、①～③は、のぞみが小学校の近くの畑

で活動されていますので、活動の様子を紹介します。

畑に参加の子どもたちは、土をいじりながら、ハーブを採って、「この葉っぱ食べれるの？」そんな声が聞こえると、お友だちが「おいしいらしいよ～」と会話も楽しそうでした。里芋の葉っぱを器代わりに水を汲んで見せると、「おもしろいね」「すごいね！」と、笑いがあって、「焚火で芋を焼いてみようよ！」と、火をおこせば、やんちゃな笑顔になっていました。子どもたちは、思いのままのびのびと活動をして、友だちとの間にか仲良くなって、安心して過ごしていました。

畑で活動している傍では、主催者のスタッフの方々が、お母さん方に講話中！

この日は、「伝わる！子どもへの3つの声かけ」をお話され、日頃の気づいたことなどが話題でした。講座の途中には、子どもたちがハーブのクッキーを焼きあげ、みなさん、嬉しそうに食べていました。お母さん方も笑顔になり、子どもたちの夢に「つながる」素晴らしい取り組みだと感じました。

③フードパントリー「てとて」では、食料品の寄付を募集しています。ボランティアさんも募集中！

ご家庭に眠っている食品があれば、ご提供をお願いします。

〈申し込み／問合せ〉 代表 川野 悦子 090-3077-3344

- ・お米 ・缶詰 ・飲料 ・お菓子
- ・インスタント品 ・お野菜 などなど